

多摩市医師会

災害医療マニュアル

ポケット版

本マニュアルは大規模地震などの災害発生時に多摩市医師会会員が直ちに災害医療活動を実施するための手引きである。

超急性期は市内4病院の門前に設置される緊急医療救護所で救護活動を行う。

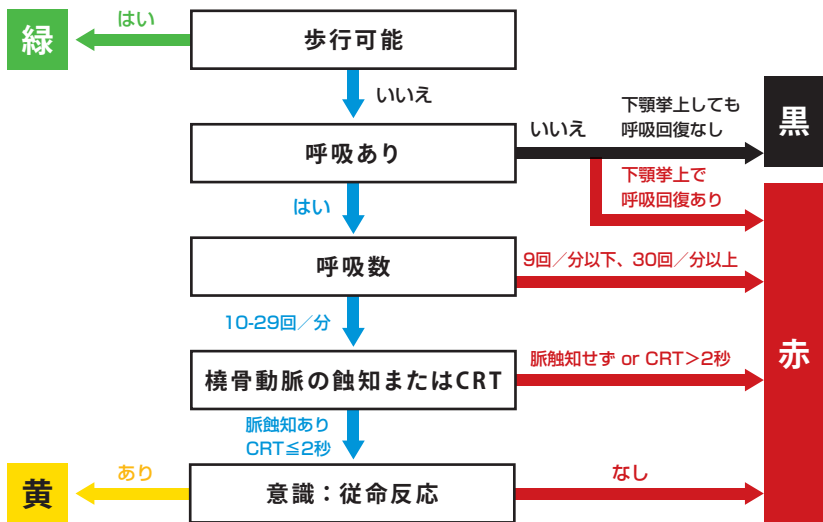
- 永山班（日本医科大学多摩永山病院）
- 南部班（多摩南部地域病院）
- 桜ヶ丘記念班（桜ヶ丘記念病院）
- 厚生荘班（厚生荘病院）

2019年10月版

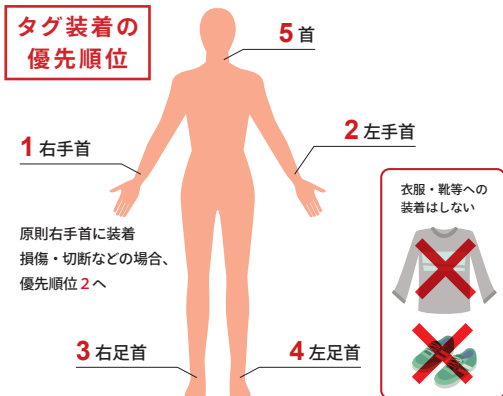
多摩市医師会

START法

Simple Triage And Rapid Treatment



傷病者へのタグ装着



カテゴリーの変更

●重症化の場合

- ・旧トリアージ区分に×印をつけ訂正
- ・旧識別部分（Ⅰ～Ⅲのカラーもぎり片）のもぎり追加
- ・トリアージ区分変更者の氏名と時刻を記載する

●軽症化の場合

- ・新たなタグを追加（作成）する
- ・旧タグ全体には大きく×印をつける（除去破棄しない）

PAT法

Physiological and Anatomical Triage

第1段階	生理学的評価 (初期評価)	意識：Japan Coma Scale (JCS) で、 2桁以上**の点数 呼吸：10回/分未満または30回/分以上 脈拍：50回/分未満または120回/分以上 血圧：収縮期血圧90mmHg未満または 200mmHg以上 SpO ₂ ：90%未満 その他：ショック症状、低体温（35度以下）
第2段階	解剖学的評価 (全身観察)	●開放性頭蓋骨陥没骨折●外頸静脈の著しい怒張 ●頸部または胸部の皮下気腫●胸郭動揺、フレイル ルチェスト●開放性気胸●腹部膨隆、腹壁緊張● 骨盤骨折（骨盤動揺、圧痛、下肢長差）●両側大 腿骨骨折●四肢切断●四肢麻痺●穿通性外傷●デ グロービング損傷●15%以上の熱傷、顔面気道 熱傷の合併
第3段階	受傷機転*	●体幹部の狭圧●1肢以上の狭圧（4時間以上） ●爆発●高所墜落●異常温度環境●有毒ガス発 生●汚染（放射性物質、生物剤、化学剤（NBC） による災害）
第4段階	災害時要援護者*	●幼児●障がいを持った人●高齢者●慢性基礎 疾患（心・呼吸器疾患、糖尿病、肝硬変、透析、出 血素因）のある傷病者●旅行者（外国人）●妊婦

* 第1段階、第2段階のいずれかに該当すれば、赤と判定する。

* 第3段階の受傷機転に該当する場合は、黄以上に判定する。第4段階の災害時要援護者に該当する場合は、1段階トリアージの区分を上げること検討する。

* *JCSは、覚醒状態に関する尺度。刺激をしても覚醒しない状態が3桁、刺激すると覚醒する状態が2桁、刺激しないでも覚醒している状態が1桁、の点数で表現される。

大震災が発生したら…

フェーズ 0

発災直後（～6時間）



震度
5強

- 自院の安全確保
- 来院患者の安全確保、避難所への誘導
- 自院職員、自身および家族の安全確保

自動招集

自院を閉鎖し、担当の病院前の緊急医療救護所に集結

フェーズ 1

超急性期（～72時間）

- 一次トリアージ（START法）
- 二次トリアージ（PAT法）
- 重傷者の他医療機関への搬送
- 軽症者の応急処置
- 中等症の一部の治療